

第17週(4月20日～4月26日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

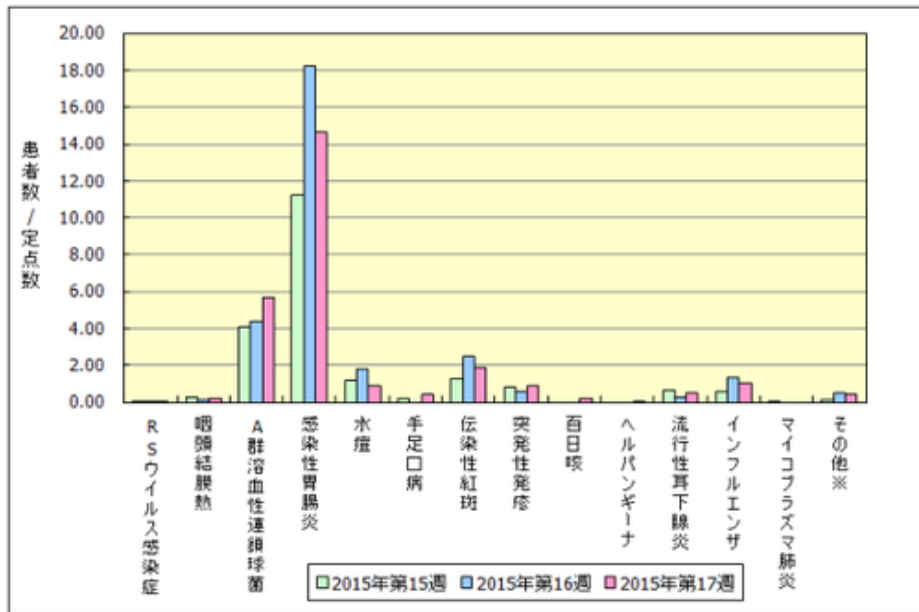
○感染性胃腸炎は、定点あたり14.6人と先週の18.2より減少してきていますが、依然として高い状況が続いています。

こまめな手洗いと、嘔吐物や下痢便は次亜塩素酸ナトリウムを使用して、適切に処理しましょう。

○インフルエンザは、小児科定点あたり1.0人となっています。

内訳 A型 0名・B型 14名

○伝染性紅斑(リンゴ病)は、定点あたり1.9人と先週より減少してきていますが、引き続き、手洗い、うがい、咳エチケットに留意しましょう。



※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第17週疾患毎発生状況グラフ

	2015年第12週	2015年第13週	2015年第14週	2015年第15週	2015年第16週	2015年第17週	第1週からの合計
RSウイルス感染症	1 ↓	3 ↑	3 →	1 ↓	1 →	1 →	107
咽頭結膜熱	1 ↑	2 ↑	1 ↓	4 ↑	2 ↓	3 ↑	42
A群溶血性連鎖球菌	86 ↑	59 ↓	55 ↓	57 ↑	61 ↑	79 ↑	1049
感染性胃腸炎	152 ↓	152 →	123 ↓	157 ↑	255 ↑	205 ↓	2961
水痘	24 ↑	21 ↓	23 ↑	17 ↓	25 ↑	12 ↓	233
手足口病	1 ↑	0 ↓	0 →	3 ↑	0 ↓	6 ↑	25
伝染性紅斑	15 ↑	15 →	18 ↑	18 →	35 ↑	26 ↓	277
突発性発疹	10 →	8 ↓	8 →	11 ↑	8 ↓	12 ↑	113
百日咳	0 ↓	3 ↑	3 →	0 ↓	0 →	3 ↑	18
ヘルパンギーナ	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	1 ↑	3
流行性耳下腺炎	3 ↓	5 ↑	1 ↓	9 ↑	4 ↓	7 ↑	121
インフルエンザ	43 ↓	14 ↓	22 ↑	8 ↓	19 ↑	14 ↓	3483
マイコプラズマ肺炎	1 ↑	1 →	2 ↑	1 ↓	0 ↓	0 →	11
その他※	2 ↓	0 ↓	3 ↑	2 ↓	7 ↑	6 ↓	38

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第17週疾患毎発生状況表

第17週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	0	0	13	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0
1歳	1	2	2	25	1	0	2	5	1	1	0	0	0	0
2歳	0	1	2	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳	0	0	5	24	1	0	2	0	0	0	2	1	0	1
4歳	0	0	8	22	0	0	7	0	0	0	0	2	0	2
5歳	0	0	17	18	4	0	6	0	0	0	2	2	0	1
6歳	0	0	9	18	0	0	3	0	0	0	0	3	0	1
7歳	0	0	11	18	1	1	2	0	1	0	1	2	0	1
8歳	0	0	13	14	3	4	3	0	0	0	2	1	0	0
9歳	0	0	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	7	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
合計	1	3	79	205	12	6	26	12	3	1	7	14	0	6

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第17週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所